

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2011-45551(P2011-45551A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2009-196996(P2009-196996)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月25日(2011.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼を照明する照明光学系を有する眼底カメラ本体と、  
前記眼底カメラ本体に着脱可能であり、撮像素子を備えたカメラと、  
前記照明光学系により赤外光と可視光とのそれぞれで照明した前記被検眼の動画像と静止画像とのそれを、前記撮像素子からの出力信号に基づいて表示手段に表示させる表示制御手段と、  
を有することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

前記表示制御手段が、  
前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明した場合に、前記被検眼の動画像を前記表示手段にモノクロ表示させ、  
前記照明光学系により前記被検眼を前記可視光で照明した場合に、前記被検眼の静止画像を前記表示手段にカラー表示させることを特徴とする請求項1に記載の眼科撮影装置。

【請求項3】

自発蛍光撮影モードを含む複数の撮影モードのうち一つの撮影モードを選択する撮影モード選択手段と、  
前記撮影モード選択手段により前記自発蛍光撮影モードが選択された場合に、前記自発蛍光撮影モードを示す表示形態を生成する生成手段と、を有し、  
前記表示制御手段が、前記被検眼の静止画像と前記表示形態とを前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項1あるいは2に記載の眼科撮影装置。

【請求項4】

前記表示制御手段は、前記自発蛍光撮影モードを示す表示画像を前記表示形態として前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項3に記載の眼科撮影装置。

【請求項5】

前記表示制御手段は、前記自発蛍光撮影モードを示す文字列を前記表示形態として前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項3あるいは4に記載の眼科撮影装置。

【請求項6】

前記表示制御手段は、前記被検眼の静止画像の左上欄に前記表示形態を合成して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載の眼科撮影装

置。

【請求項 7】

前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明する場合に、前記カメラのシャッタを開状態にして前記撮像素子からの出力信号を順次に読み出す手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の眼科撮影装置。

【請求項 8】

被検眼を照明する照明光学系を有する眼底カメラ本体に着脱可能であるカメラであつて、前記照明光学系により赤外光と可視光とのそれぞれで照明した前記被検眼の戻り光に基づいて、前記被検眼の動画像と静止画像とのそれぞれを出力する撮像素子を有することを特徴とするカメラ。

【請求項 9】

前記撮像素子からの出力信号に基づいて、前記被検眼の動画像と静止画像とのそれぞれを表示する表示手段を有することを特徴とする請求項 8 に記載のカメラ。

【請求項 10】

前記表示手段が、前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明した場合に、前記被検眼の動画像をモノクロ表示し、

前記照明光学系により前記被検眼を前記可視光で照明した場合に、前記被検眼の静止画像をカラー表示することを特徴とする請求項 9 に記載のカメラ。

【請求項 11】

前記表示手段が、自発蛍光撮影モードで前記被検眼を撮影した場合に、前記被検眼の静止画像と前記自発蛍光撮影モードを示す表示形態とを表示することを特徴とする請求項 9 あるいは 10 に記載のカメラ。

【請求項 12】

前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明する場合に、シャッタを開状態にして前記撮像素子からの出力信号を順次に読み出す手段を有することを特徴とする請求項 8 乃至 11 のいずれか 1 項に記載のカメラ。

【請求項 13】

被検眼を照明する照明光学系を有する眼科撮影装置と、前記眼科撮影装置に着脱可能であり、撮像素子を備えた撮像装置と、を有する眼科システムであつて、

前記照明光学系により赤外光と可視光とのそれぞれで照明した前記被検眼の動画像と静止画像とのそれを、前記撮像素子からの出力信号に基づいて表示手段に表示させる表示制御手段を有することを特徴とする眼科システム。

【請求項 14】

前記表示制御手段が、前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明した場合に、前記被検眼の動画像を前記表示手段にモノクロ表示させ、

前記照明光学系により前記被検眼を前記可視光で照明した場合に、前記被検眼の静止画像を前記表示手段にカラー表示させることを特徴とする請求項 13 に記載の眼科システム。

【請求項 15】

自発蛍光撮影モードを含む複数の撮影モードのうち一つの撮影モードを選択する撮影モード選択手段と、

前記撮影モード選択手段により前記自発蛍光撮影モードが選択された場合に、前記自発蛍光撮影モードを示す表示形態を生成する生成手段と、を有し、

前記表示制御手段が、前記被検眼の静止画像と前記表示形態とを前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 13 あるいは 14 に記載の眼科システム。

【請求項 16】

前記照明光学系により前記被検眼を前記赤外光で照明する場合に、前記撮像装置のシャッタを開状態にして前記撮像素子からの出力信号を順次に読み出す手段を有することを特徴とする請求項13乃至15のいずれか1項に記載の眼科システム。

**【請求項17】**

請求項13乃至16のいずれか1項に記載の眼科システムの各機能をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。